

令和6年9月24日

事業報告

講座名	令和6年度やまぐちキッズスクール 第3回
日時・場所	9月7日（土）山口県セミナーパーク
参加者数	参加者：18組52人（子ども29人、大人23人） 学生スタッフ：10名

1 概要

本事業は、県内の4歳～小学3年生およびその保護者を対象とする全3回の体験学習事業である。下記を目的とし、5月25日に第1回目、7月6日に第2回目、そして今回第3回目を実施した。なお本事業には県内の大学生12名程度が学生スタッフとして参加し、子どもの活動をサポートする。

<目的>

生命や自然を大切にする心や好奇心、探究心や創造力を高めるきっかけにするとともに、興味関心の共有・表現を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育む。

(1)10:00～11:00 アイスブレイク(講師:青山 翔 氏)

1日の最初は、アイスブレイクとして、山口大学教育学部講師で幼児教育アドバイザーの青山 翔 氏をお招きして、「自宅でできる親子運動あそび」(以下運動あそび)を教わった。運動あそびとは、例えば、親が高いところや低いところなど、いろいろな位置に手のひらを差し出し、そこに子どもがタッチする「タッチ&タッチ」や、親が膝を曲げたところに子どもが立ち、足を支えてもらいながら手を広げて飛行機になりきる「ひこうき」など、親子でたくさんスキンシップをする遊びで、親子の絆を深めていた。

(2)11:10～ 15:00 講師:環境まなび研究所

11:10からは、「廃木材で秘密基地づくり」を行った。今回使用した「廃木材」とは、かまぼこ板として使われるために切られたが、節があたり欠けたりしていて使えなかったもので、それをそのまま捨てるのはもったいないということで、環境まなび研究所が積み木として何度も活用しながら、子どもたちに環境問題について教えている。

今回は1グループに大学生3人くらいがついて、一つの秘密基地を作った。一つの秘密基

地に400枚以上のかまぼこ板を1枚ずつ積み重ねて作っていった。保護者もその間、保護者だけで一つ秘密基地を作った。作業中は、役割や順番を決めたり、声を掛け合ったりしながら、子どもたちなりにルールを決めて協力して作業を進めていた。保護者も熱中して作っていた。完成したら入口用の穴を開け、そこからみんなで中に入って写真を撮った。最後は一気にくずし、みんなで協力してすべて箱に片づけた。

